

長野工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	学外実習	
科目基礎情報						
科目番号	0024		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	実験・実習		単位の種別と単位数	学修単位: 12		
開設学科	生産環境システム専攻		対象学年	専1		
開設期	後期		週時間数	12		
教科書/教材	教科書: 受入れ企業等により個別対応, 参考書: 受入れ企業等により個別対応.					
担当教員	渡辺 誠一					
到達目標						
取組む実習の内容を把握し, 実施すべき事項を実習企業等と協議して計画し遂行できること. これらを企業等の学外実習責任者が作成する「学外実習評定書」, 「学外実習月報」, 「訪問面談」の評価により(D-2), (F-1), (G-1), (G-2)を評価する.						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安			
実習内容の把握と計画・遂行	取組む実習の内容を深く把握し, 実施すべき事項を実習企業等と協議して計画し遂行できる.	取組む実習の内容を把握し, 実施すべき事項を実習企業等と協議して計画し遂行できる.	取組む実習の内容を把握し, 実施すべき事項を実習企業等と協議して計画し遂行できない.			
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	次の目的を達成するために, 学生の希望・適性にあった企業等を選択し, 14週間(540時間以上)を目標に, 実務実習を行う. ①企業等において, 実践的・技術的感覚を養うこと. ②社会における技術の必要性を学び, 専攻科における勉学の意義を認識し, 自己啓発をすること. ③基礎学問が総合的に利用されて社会における技術として形成されていく過程を体験し, 個々の専門技術に囚われない総合的な能力を高めること.					
授業の進め方・方法	各種提出物を課すので, 期限に遅れず提出すること.					
注意点	<p><成績評価> 企業等の学外実習責任者が作成する「学外実習評定書」評価を60%, 学生が作成する「学外実習月報」評価を20%, 教員が行う「訪問面談」評価を20%とし, 100点満点により評価する. 「学外実習評定書」には細目の評定基準が示されている. (D-2)は「学外実習評定書」の細目「取組み」の20点を当て20点満点とする. (F-1)は「学外実習月報」の10点, 「訪問面談」の10点を当て20点満点とする. (G-1)は「学外実習評定書」の細目「取組み」と「資質」の各10点, 「学外実習月報」の10点, 「訪問面談」の10点を当て40点満点とする. (G-2)は「学外実習評定書」の細目「取組み」, 「資質」, 「協調性責任感」の20点満点とする. 総合評価が60点以上で, かつ(D-2), (F-1), (G-1), (G-2)の評価が満点の60%以上の場合を合格とする.</p> <p><オフィスアワー> 放課後16:00 ~ 17:00, 学外実習担当教員. この時間にとらわれず必要に応じて来室可.</p> <p><注意事項> 実習先が海外の場合, 到着後現地の大学などで実習企業での心得や現地での注意事項に関する指導を受けてから実習を開始する.</p>					
授業の属性・履修上の区分						
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応		
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
授業計画						
	週	授業内容	週ごとの到達目標			
後期	3rdQ	1週	準備	事前の打ち合わせで決めた実習テーマの理解を深める. また, 実習テーマを行うために必要となる, 特有の技術や安全などの教育を受けたり, 自己学習をする.		
		2週	準備	事前の打ち合わせで決めた実習テーマの理解を深める. また, 実習テーマを行うために必要となる, 特有の技術や安全などの教育を受けたり, 自己学習をする.		
		3週	テーマの遂行	各企業で個別に設定したテーマに沿って実習を行う. この間, 各月毎に月次報告書を指導者と共に書いて提出する.		
		4週	テーマの遂行	各企業で個別に設定したテーマに沿って実習を行う. この間, 各月毎に月次報告書を指導者と共に書いて提出する.		
		5週	テーマの遂行	各企業で個別に設定したテーマに沿って実習を行う. この間, 各月毎に月次報告書を指導者と共に書いて提出する.		
		6週	テーマの遂行	各企業で個別に設定したテーマに沿って実習を行う. この間, 各月毎に月次報告書を指導者と共に書いて提出する.		
		7週	テーマの遂行	各企業で個別に設定したテーマに沿って実習を行う. この間, 各月毎に月次報告書を指導者と共に書いて提出する.		
		8週	テーマの遂行	各企業で個別に設定したテーマに沿って実習を行う. この間, 各月毎に月次報告書を指導者と共に書いて提出する.		
	4thQ	9週	テーマの遂行	各企業で個別に設定したテーマに沿って実習を行う. この間, 各月毎に月次報告書を指導者と共に書いて提出する.		
		10週	テーマの遂行	各企業で個別に設定したテーマに沿って実習を行う. この間, 各月毎に月次報告書を指導者と共に書いて提出する.		
		11週	テーマの遂行	各企業で個別に設定したテーマに沿って実習を行う. この間, 各月毎に月次報告書を指導者と共に書いて提出する.		

		12週	テーマの遂行	各企業で個別に設定したテーマに沿って実習を行う。この間、各月毎に月次報告書を指導者と共に書いて提出する。
		13週	テーマの遂行	各企業で個別に設定したテーマに沿って実習を行う。この間、各月毎に月次報告書を指導者と共に書いて提出する。
		14週	まとめ	遂行したテーマのまとめを行う。報告書は2種類あり、実習企業等向けのもの、「実践工学演習」の報告会用である。
		15週	まとめ	遂行したテーマのまとめを行う。報告書は2種類あり、実習企業等向けのもの、「実践工学演習」の報告会用である。
		16週		

評価割合

	学外実習評定書	学外実習月報	訪問面談	合計
総合評価割合	60	20	20	100
基礎的能力	60	20	20	100